

シロタモ

[木本] 《忌避》



果実は黄色から赤に熟す。



葉の表面は濃緑色。



裏面は白色。

区別のポイント

葉は三行脈がある。冬芽には毛があり、展開した幼葉は垂れ下がり黄褐色の絹毛に覆われている。イヌガシに似るが本種の葉はより薄く柔らかく、より白い。

形態 常緑高木。

分布 本州（宮城県・山形県以南）・四国・九州・沖縄

名前の由来 タモはタブの転訛。葉裏が白い。

葉 〈全体〉長楕円形・または卵状長楕円形で長さ8～18 cm。裏面は灰白色。
〈付き方〉互生。枝先に集まって付く。
〈葉柄〉2～3 cm。
〈基部〉くさび形。
〈葉先〉鋭尖頭または少し鈍頭。
〈縁〉全縁。

備考 匂い成分。9では中。

出典 1, 9